

平成27年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492100092	事業の開始年月日	平成21年11月1日
		指定年月日	平成21年11月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手 鎌倉の杜		
所在地	( 247-0066 ) 神奈川県鎌倉市山崎 7 5 6 - 2		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成27年11月8日	評価結果 市町村受理日	平成28年3月18日

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?0pen>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご入居者様の生活の場として、家庭的な雰囲気を大切にしながら自分でお出来になる事はして頂き入居者様それぞれ好きな事、得意な事を役割としていただき、入居者様がお互いに協力し合いながら生活をしていけるような支援を職員一同させて頂いております。ホームの周辺は緑が多く静かな落ち着いた環境です。中庭のウッドデッキにて花壇の花をご覧になって頂いたり歌を皆様で楽しんで頂いております。医療面も連携が出来ており月2回の訪問診療、週1回の訪問看護にて入居者様の健康管理をさせて頂いております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成27年12月9日	評価機関 評価決定日	平成28年2月21日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR大船駅よりモノレール「湘南町屋」「富士見町」駅、もしくはバス停「山崎」下車で徒歩7分程の、うぐいすなどの野鳥が訪れる山を背にした閑静な環境にあるグループホームです。運営法人は、介護付き有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能ホーム事業などを展開しています。

<優れている点>

管理者は、単なる支援をするだけでなく、利用者が自分の家と感じて暮らしていける自立支援の場とも捉えています。利用者が得意なことや好きなことも活かしながら、役割りなども含めて、出来る事はやりながら生き生きと生活していけるような支援を心がけています。建物は、利用者が自宅で寛いで楽しく生活できるようにとの運営法人代表の思いで建てており、施設とは思えない外観であり、内装にもこだわった瀟洒な邸宅風となっています。玄関前から中庭へバリアフリーで広いウッドデッキが続いています。リビングは天井が高く、吹き抜けで天窓もある明るくゆったりとした共有空間です。廊下は広く明るい漆喰の壁を使用しています。家族も知人宅を訪れるような気持ちで来訪出来ます。

<工夫点>

個人記録には介護計画書も添付しています。職員は随時介護計画を見ながらケアの確認ができ、利用者一人ひとりに合った適切な支援および介護計画の見直しにも有効なものとなっています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手 鎌倉の杜
ユニット名	1階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「愛・生きる喜び・快適な生活」の3Lの精神を理念としておりますが、毎朝の朝礼時には企業理念の全文を唱和し、全職員に対して意識の共有を図ると共に、実践に取り組んでおります。	理念は玄関に掲示し、朝礼で唱和すると共に、職員は「理念と行動規範」のクレドカードを携帯しています。また、行動規範のうち2項目ほどをその日の重点取組みとしてとりあげ、理念に則った支援に取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	消防避難訓練には、近隣の方にお声掛けをさせて頂いております。運営推進会議には、町内会の方に参加して頂いております。	日常の散歩や買い物、町内の祭りや子ども会の運動会を見に行ったり、建物入口から続く広い中庭には近隣の子どもたちが遊びに来るなど、地域の人々との交流が生まれています。町内会に参加しており、回覧板により地域の情報が入ってきています。	町内会会長や民生委員との関係を築いていますので、今後は近隣の住民、保育園や学校などへも積極的に働きかけ、お互い良き協力関係を築いていくことも期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では、ご入居者様の日々の暮らしぶりを説明させていただき、より多くの方々へ認知症の理解を深めていく努力をしております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームの現状を報告させていただく中で、多くの御意見やご指導を頂戴しております。また、地域情報でいただいた行事等の催しなどにも参加できるよう努めております。	会議は、2ヶ月に1回開催しています。町内会会長、市担当者、民生委員、地域包括センター職員、介護相談員、家族などが出席し、事業所の様子や活動内容を伝えています。課題が出た際には委員の助言や協力があり、有意義な会議となっています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域密着型サービス事業者会の研修会や市主催のスマイルフェスタへの参加をし協力関係を築いております。	市とは必要に応じて情報交換をして連携を図っています。市主催のスマイルフェスタに参加して介護保険の仕組みやサービス内容の紹介をしたり、研修に参加して事例検討の担当をしたり、運営推進会議の場などで情報共有をするなど、協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止については、定例ミーティング等で周知徹底を図っており、全職員が正しく理解できていると確信しております。事故防止のため、また安全上、玄関については常時施錠させていただきます。ありがとうございます。	管理者は職員へ、言葉の使い方も含め、身体拘束防止について周知しています。気にかかる場面があった場合には、その場で助言すると共に朝礼や会議の際に事例を出して話題にあげ、職員間の認識を共有し、意識向上を図るように努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関しましては、ミーティングの場などで指導を行っており、今後も研修会に参加し指導を続けていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の活用の支援を行えるよう、今後も研修会に参加し指導を続けて参ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居相談時に当ホームの理念、方針、規約のご説明をさせていただき、納得して頂き契約を結んで頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場やご家族が来所された際にご意見、ご要望をお伺いしております。また、「ご意見箱」を設置し、気がねなくご意見やご要望をいただけるようにしています。	意見や要望に関して、意見箱の設置、重要事項説明書に事業所対応者名、外部苦情申し立て窓口の記載、介護相談員の来所など、利用者や家族が苦情や相談を表せる機会を設けています。また、家族の来訪時にも、質問や意見、要望を聞いて応えるように努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の定例ミーティングにて、意見交換等を行い、適切な業務の遂行に努めております。また、日頃から全員が些細なことでも業務提案しやすい環境作りにも努めております。	管理者は、日常のコミュニケーションや各種ミーティング、連絡ノート、個人面談などから、職員の意向を把握しています。業務内容を臨機応変に見直して職員が働きやすいように努めています。行事やレクリエーションは、職員へ提案・企画を任せています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	○JTを用いて個々の評価を行っております。代表者は常に人員体制の把握に努め、業務が円滑に行われるよう環境整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的な勉強会に参加し、ミーティングの際、再度その内容を確認しスタッフ全員の介護技術の向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市主催の連絡会や研修会等に参加させていただき、同業者の方々との交流を持ち、意見交換を行い情報の共有を図っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	実態調査を丁寧に行い、ご入居者様が新しい環境にいち早く馴染んでいただけるよう、コミュニケーションを密にし、傾聴することで不安なく、安心していただけるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族のご意思に沿ったサービスの提供ができるよう、ご要望をお聞きしながらお互いに話し合う事で、良い信頼関係を構築できるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御入居者様の今までの生活のご様子や性格、症状等をお伺いし、必要なサービスを話し合いケアプランを作成しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の気持ちに寄り添い、ご意思を尊重しながらも、一緒に手伝っていただける事（食事作り、裁縫等）に関しては出来る限り手伝って頂く事により共に生活している関係性を強く築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様と、ご家族様の関係をしっかりと把握する事により、ご家族様と共にご本人様を支えております。ご家族の来所時にも、絆を大切にできるよう配慮することに努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御友人や、ご親戚の方の面会やお電話のお取次、手紙でのご連絡等にご自由にしていただいております。	利用者の知り合いや親戚の人たちが来訪する際には快く迎え入れ、生活歴や日常の会話などから要望を引き出すなど、継続したつながりが途切れないように支援しています。外食や墓参りなどの行きたい場所への外出に家族と出かける利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御入居者様それぞれが興味をお持ちの事柄を把握し、その日の状態や気分、感情の変化等に応じて、レク等への参加を促して楽しい時間の共有を創造しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後のご家族様との積極的な交流は取れていない状況にあります。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御入居者様のご希望やご要望をお聞きした上で、無理のないケアプランの作成に努めております。	利用者の思いや意向は、日々の会話や様子、生活歴、家族の話などからひきだしています。散歩が好きな人、歌が好きな人、裁縫が得意な人など、利用者に喜んでんでもらえるように支援しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴やライフスタイル、介護サービスのご利用状況等を、できるだけ詳しく御家族様よりお伺いして、ご本人様に最適なサービスの提供を行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々のバイタルチェック、食事及び水分摂取量の確認、排泄や睡眠時間等を記録することで体調を把握し、ご自分ではできないことについては支援させていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御入居様の日常のご様子を把握し、スタッフ、医師や看護師の意見を取り入れながら、3ヶ月毎にケアカンファレンス、6ヶ月毎にケアプランの作成を行い、ご家族様にご説明をさせていただいております。	介護計画は、アセスメントやモニタリング、個人記録、利用者の気持ちや言葉などを記載した「私をわかってシート」、医師や看護師の見解などを鑑みて作成しています。基本的に3ヶ月ごとに職員も参加して話し合い、現状に即した介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿った日常生活をしていただきながら、体調や行動の変化があった場合には、申し送りを通じて、スタッフ間の情報の共有や随時見直しを図っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	可能な限り、ご入居者様のニーズにあったサービスが提供できるよう配慮した個別対応を心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	外出レクとして近隣の公園や植物園などに出掛けたり、スーパーやコンビニ等の買い物レク支援や近隣住民の方々との交流を通じて豊かな暮らしを楽しんでいただいております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回、提携医療機関の訪問診療を受けていただくことで、早期発見、早期治療に対して万全の体制を取っております。また、看護師や歯科医師の診療も週1回行っております。	入居前の主治医の利用者も居ます。往診は内科は月2～3回、歯科は週1回、眼科は2ヶ月に1回あります。他は外来で原則家族対応です。家族対応の医療情報は受信記録で共有しています。訪問看護は週1回来ており24時間のオンコール対応となっています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ホーム専属の看護師による週1回の訪問看護体制を敷いております。その際に、医療面での的確なアドバイスを受け、緊急時には24時間のオンコール体制で連携を取りながら、介護支援を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師と密に連携を図り、病気やけがの早期発見、治療に努めております。万が一、入院された場合にも、可能な限り早期退院できるよう、ご家族様とも回復状況の情報交換に努め、退院支援に結び付けております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に看取りに関する指針をご説明し、書面にて承諾をいただいております。ステージごとにご家族様、主治医、看護師、ホーム長、ケアマネジャーとの意向を調整しながら、対応方針の共有を図っております。	契約時に事業所の指針を説明し同意を得ています。看取りは家族の希望により「指針」の内容を踏まえ、実施内容を確認したうえで家族や主治医、事業所と連携して取り組んでいます。開設後多くの看取り希望を受け入れてい	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急マニュアルを作成し、主治医、看護師と連携を取りながら、常に迅速で的確な対応ができるようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の指導のもと、定期的に消防訓練を実施しており、運営推進会議などで、地域の方にも、助言、ご指導をいただいております。	防災訓練は年2回実施しています。1回は消防署の立ち合いで行っています。夜間想定訓練も行っています。備蓄は食糧と水が3日分、他にガス・コンロ、ラジオ、電灯、簡易トイレなどです。保管リスト（品名、数量、賞味期限）を作成し管理しています。	災害時には地域の協力が必須です。訓練の際は都度近隣への挨拶、ポスティングなどの繰り返しをしたり、日頃近隣の人達の施設見学の機会を作るなど地道な取り組みが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に敬意を払う事はもちろん、その時々状況や心理状態を考慮した上で、個人の生活スタイルや個性にあったお声掛けや対応をさせていただいております。	入職時に接遇マニュアルなどで研修し、周知しています。排泄時や入浴の際には、特にプライバシーについて細心の配慮をしています。なれ合い言葉や強い口調などにも注意をしています。利用者の個人情報ロッカーに施錠管理をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人のご希望を尊重した上で、何が必要かを考え、自己決定できるような雰囲気作りや答えを導き出せるお声かけを心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調等に配慮しながら、ご本人のお気持ちを尊重して、その方らしさの感じられる日々を送っていただけるよう支援を行っております。また、お気持ちに寄り添う事を最優先することにも努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その方の生活スタイルや好みを大切にするため、衣服は基本的にご本人様の意向で決めていただき、見守りや支援が必要な際に支援を行うようにしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の下準備（皮剥き等）やテーブル拭きなどを手伝っていただくとともに、職員とテーブルを囲んで楽しく会話しながら食事できる雰囲気作りをしております。	食材や献立は外部に委託し、調理は利用者の形態に合わせて職員の手作りで提供しています。雛祭やクリスマス、正月などの季節の行事では、行事献立で楽しんでいます。配膳や下膳、湯出し、食器洗いなど利用者自ら出来ることをしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日に必要とされる水分摂取量や食事摂取量及び留意点を把握して、こまめな記録とチェックをしながら支援を行っております。また、主治医、看護師の指示を仰ぎ、必要に応じて刻みやミキサー食、水分量の対応をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔内の清潔維持のため、歯科診療での指導を参考にしながら、状態に応じて毎食後、歯ブラシやガーゼ等を使用して支援させていただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを確認しながら、その日の体調やご気分に合わせて、トイレの声掛けを行い、出来るだけトイレで排泄できるよう支援させていただいております。	一人ひとりの排泄チェック（IN OUT表）でパターンを把握し、トイレ誘導しています。リハビリによりトイレ排泄の自立に向けた支援もしていますが、失禁した場合には、さり気なく居室又はトイレに案内し対応しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の排便状況を把握して、便秘の様子については医師や看護師と相談しております。水分摂取の声かけや飲み物の工夫を行ったり、歩行や運動などを積極的に取り入れて便秘予防に努めております。また、腹部マッサージ等も実施しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に週3日入浴日を設定しております。ご入居者様のご希望に沿ってお声掛けをし、入浴する順番や入浴時間に配慮して気持ち良く入浴を楽しんでいただけるよう工夫しております。	入浴は週3回を基本としています。回数や時間など希望により柔軟に対応しています。個浴と特浴（座浴）の設備もあります。入浴の嫌いな利用者には、声掛けの工夫をしたり、職員との相性などを考慮して対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活のリズムが崩れない程度に、個々の体力や体調等に合わせて適度な休息を取っていただきながら、日中は散歩や外気浴、適度な運動等で、気分転換をしていただき、夜間に十分な睡眠がとれる様支援に努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局より薬を受け取る際には、必ず薬剤指導を受け、情報を職員全員が共有しております。服薬時には複数の職員による確認を徹底し、服薬ミスの防止を図っております。また、服薬時、服薬後の様子には十分留意しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	野菜の皮むき、お茶入れ、テーブル拭き等、役割分担を決めて出来る限りのお手伝いをさせていただいております。また、その方らしく生き生きと楽しく毎日を過ごして頂けるように支援に努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候と体調の許す限り、ご入居者様のご希望を伺ったり、職員から声掛けをさせていただき、近所の公園まで散歩したり、コンビニまで買物に同行させていただいたりしております。	事業所の周りには神社や公園があり日常の散歩コースとなっています。車椅子の利用者も散歩しています。途中に大きな屋敷があり、花や庭木などを愛でることもあります。季節の花見や海岸巡りなどのドライブを兼ねた遠出の楽しみもあります。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則として、現金は所持されておませんが、ご家族様の了承を得て、ご入居者様がお好きな物をご自分でお買い求めできるよう職員の付き添いの上、立て替えさせていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人のご希望や、ご家族様のご理解の下、お取次をいたしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部分については毎日清掃し、常に空調に配慮して快適な空間作りに努めております。また、季節ごとに中庭花壇の花を植えかえたり、季節を感じるディスプレイを工夫する等して居心地良く生活していただけるよう努めております。	玄関前から中庭へバリアフリーで広いウッドデッキが続いています。リビング兼食堂は天井が高く、吹き抜け、天窗もある、明るくゆったりとした共有空間です。コーナーにはソファやテレビでくつろぐことができます。廊下は広く明るい漆喰の壁を使用、ベランダへも出ることができます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングは常に開放しており、皆様に楽しく雑談したり、ゆっくりと新聞を読まれたり、ソファでのんびりとテレビをご覧になったりと、思い思いに自由な時間を過ごしていただける空間作りに努めております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご自宅で使用されていた家具等を設置して頂く等して、環境の変化がもたらす影響を極力抑える工夫を行っております。食器や日用品、洋服等、慣れ親しんでいる物を使用することで安心して暮らしていただけるよう支援しております。	エアコンやクローゼット、照明を備え、他は持ち込み自由となっております。ベッドやダンス、カーテン、鏡台、時計、椅子、ぬいぐるみ、写真など思い思いの家具や調度品を揃え居心地良く過ごせる居室となっております。居室には濡れ縁もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の状態に応じて、居室内は怪我や転倒を防止する工夫を行っております。ベッドや椅子の高さなどを安全に立位できるように配慮し、事故防止に努めております。		

事業所名	グループホームちいさな手 鎌倉の杜
ユニット名	2階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「Love・Live・Life・・・愛・生きる喜び・快適な生活」3Lの精神を理念とし、入居者様、スタッフひとりひとりの幸せが大きな幸せにつながるよう、豊かな生活の実現に取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	消防避難訓練には、近隣の方にお声掛けをさせて頂いております。運営推進会議には、町内会の方に参加して頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議などでご入居者様の暮らしぶりをお話しし、認知症への理解を深めて頂き、地域での役割を話し合っていきたいと考えております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームの現状を報告させていただく中で、多くの御意見やご指導を頂戴しております。また、地域情報でいただいた行事等の催しなどにも参加できるよう努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	地域密着型サービス事業者会の研修会や市主催のスマイルフェスタへの参加をし協力関係を築いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止については、定例ミーティング等で周知徹底を図っており、全職員が正しく理解できていると確信しております。事故防止のため、また安全上、玄関については常時施錠させていただきます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関しましては、ミーティングの場などで指導を行っており、今後も研修会に参加し指導を続けていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の活用の支援を行えるよう、今後も研修会に参加し指導を続けて参ります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居相談時に当ホームの理念、方針、規約のご説明をさせていただき、納得して頂き契約を結んで頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場やご家族が来所された際にご意見、ご要望をお伺いしております。また、「ご意見箱」を設置し、気がねなくご意見やご要望をいただけるようにしています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の定例ミーティングにて、意見交換等を行い、適切な業務の遂行に努めております。また、日頃から全員が些細なことでも業務提案しやすい環境作りにも努めております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	○J Tを用いて個々の評価を行っております。代表者は常に人員体制の把握に努め、業務が円滑に行われるよう環境整備に努めております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的な勉強会に参加し、ミーティングの際、再度その内容を確認しスタッフ全員の介護技術の向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市主催の連絡会や研修会等に参加させていただき、同業者の方々との交流を持ち、意見交換を行い情報の共有を図っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	新しい環境にご入居者様がなじめるようコミュニケーションを多くとり、不安を取り除いて頂くよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居者様の1日のご様子をお知らせし、ご要望をお聞きしながら信頼関係を築き安心して頂けるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居者様のご様子を確認し、必要なサービスを話し合いケアプランを作成しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事作り、食器洗い、洗濯物たたみなどをスタッフと一緒にいただき、感謝の言葉をおかけし共に生活をしている関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様にもレクに参加して頂いたり、居室でご家族だけで過ごして頂く時間と共に、リビングで他入居者様と過ごして頂き、ご家族様との絆を大切にしています。また毎月広報を発行し、ご入居者様のご様子をお伝えしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご友人、ご親戚が尋ねて来て下さいます。またお電話のお取次ぎなど自由にして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	スタッフが間に入り、レクリエーションの参加を促し、皆様に楽しめる時間を作っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後のご家族との積極的な交流は取れていない状況にあります。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様のご希望、ご要望を普段の生活の中でお聞きし、ケアプランに取り入れております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居時にご本人、ご家族様よりこれまでの生活の様子、環境をお伺いしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェック、食事量、水分量の確認、起床時間、睡眠時間など記録し体調の様子を把握し、ご自分で出来ない事柄については支援させていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様の日常の様子を把握し、3か月毎にケアカンファレンス、6か月ごとにケアプランの作成をスタッフ、医師、看護師の意見を取り入れながら、ご家族にご説明をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿って日常の生活を過ごして頂き、体調や行動の変化の対応について申し送りノートに記入しスタッフ間で情報の共有をし見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご入居者様のご希望に沿うよう個別の対応を心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	公園や美術館へ外出するレクリエーションを行ったり、ご入居者様のご希望で近所のコンビニへの買い物に行かれたり、散歩の時にはホームの近隣の方との挨拶の交流も楽しんで頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携医療機関の医師が毎月2回訪問診療を行っており、24時間の医療協力体制を取っており、病気の早期発見、早期発見、認知症状の把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護を行い、看護師との連携をとり、心身のチェック、医療面のアドバイスを受け、異常時には的確な指示の下、看護を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師との連携を図り、病気やけがの早期発見・治療に努め、可能な限り長期入院を避けるようにしております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に看取りに関する指針をご説明し、主治医がこれ以上回復が望めない判断をした時に改めてご家族様、主治医、ホーム長、ケアマネージャーで方針を決め同意を頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルを作成し対応しております。看護師、主治医と連携を図り状態に応じた対応をしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署員の指導のもと、年2回の避難訓練を行っており、運営推進会議などで地域の方にも相談、助言を頂き対応を話し合っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人の生活スタイルや個性を踏まえながら、親しみを持って頂ける言葉かけや、安らぎを感じて頂ける対応をさせて頂いております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人がいつでもお気持ちを伝えやすい雰囲気づくりと、答えを引き出せるような言葉かけを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	毎日、皆様のご意見を尊重しながらレクリエーションの内容を決めたり、お一人お一人のご気分に合わせて過ごし方をして頂き、皆様が楽しく、快適にお過ごし頂けるよう工夫しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人とご家族様からお好きな色やファッションを伺い、それに基づいた服装やヘアスタイルとなるよう心掛けております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お一人お一人の得意なこと、能力を把握した上で、野菜の下ごしらえや料理の盛り付け、お茶を入れて頂く、配膳、食器片づけ等、スタッフと一緒にっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	看護師指導の下、お一人お一人に適した水分量、食事量、食事方法が決められ、バランス良く過不足なく摂取して頂けるよう支援しております。こまめな摂取量のチェックを行い、記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、お一人お一人の状態に合わせて、歯ブラシ、歯間ブラシなどを使用し、口腔ケア支援をさせて頂いております。また、就寝前には義歯をお預かりして洗浄剤に浸け、清潔を保つよう支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンの確認を行い、定時トイレ誘導、ご様子を見てお声掛けしてトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援しております。また、ご本人が不安な時は、尿取パットやリハビリパンツを使用頂き、排泄の不安を解消できるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日便通の有無を記録し、看護師指導の下、水分摂取量や下剤調整、腹部マッサージを行い便秘に対応しております。また、日々の生活の中で、こまめな水分摂取と適度な運動を心掛け、便秘予防に取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に週3日の入浴を行っております。ご入居者様のご希望に沿ってお声掛けをし、入浴する順番や入浴時間に配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活リズムや体調が崩れないよう、お一人お一人の体力、体調に合わせて適度な休息を取って頂いたり、日中はレクリエーションや散歩で気分転換をはかり、夜間に十分な睡眠を取って頂けるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局より薬を受け取る際には、必ずスタッフが薬剤指導を受け、薬剤情報をスタッフ全員が共有しております。看護師指導の下、服薬後の様子に留意しております。服薬時には複数の職員で薬袋の氏名・日時を確認し、服薬ミス防止を徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	社交的な方はムードメーカーに、主婦や料理人だった方には調理のお手伝いを、掃除や洗濯もの畳み、鉢植えの水やりなど、その方の能力を生かし、皆様の役に立つて頂くことで、生活に張り合いと喜びを持って頂けるよう支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には、ホーム周辺を散歩したり、近くのコンビニへの買い物に同行させて頂いております。また、ご家族が同行されて帰宅されたり、外食や買い物に出掛けておられます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則として、お金は所持されていませんが、立て替えをさせて頂き、買い物をして頂いております。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人のご希望があるときは、取り次いでお電話をして頂いております。携帯電話をお持ちのご入居者様もおられ、ご家族にお電話をしておられます。また、ご家族やご友人宛に私信の葉書や年賀状を書かれる方もおられます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部分は毎日掃除をし、空調に気を配り、快適に過ごして頂けるよう努めております。リビングは写真をディスプレイしたり、鉢植えを置いたりして居心地の良い空間を作り、玄関には、花を活け、中庭には花や植樹をして季節感を味わって頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングでご家族や気の合ったご入居者様とお話しされたり、本や雑誌を読まれたり、ソファでテレビをご覧になられたり、中庭のウッドデッキで外気浴をされたり、1階と2階のご入居様の交流もあり、思い思いに過ごして頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家具はご本人様の愛着のあるものを使用頂き、趣味の刺繍や書画、ご家族の写真を飾られたりと、それぞれ個性のあるお部屋で過ごして頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室やトイレが分からなくなるご入居者様の為にお洒落な表札を貼ったり、居室内はお一人お一人の状態に合わせて怪我や転倒を防止する工夫をしております。プライバシーに配慮しながら、スタッフの目が届くよう工夫しております。		

平成27年度

## 目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手 鎌倉の杜

作成日： 平成 28年 3月 10 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者様の個別ケアの必要性	入居者様それぞれの個別対応についての職員の意識を高めて行く。	定期的に個別の対応についてのミーティングを行い職員の統一したケアの確認をして行く。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月